

事務事業名		重度心身障害児者施設協力事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業				
政策体系	政策名	0 2 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目				
	施策名	1 1 障がい者(児)支援の充実				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	0 2 相談体制の充実				<input type="checkbox"/> 単年度のみ	01	03	01	02
根拠法令				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 不明 年度～)		事務事業区分				
所属	部課名	生活福祉部地域福祉課		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】		A 政策事業 B 施設整備				
	課長名	三上 護		年度～ 年度		C 施設管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等				
	係名	障害福祉係	電話	27-3111		E 一般(1～4以外)				
	担当者	山崎 あゆみ	内線	187		※全体計画欄の総投入量を記入				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
<ul style="list-style-type: none"> 独立行政法人国立病院機構岩手病院が運営する重症心身障害児(者)施設あすなろ療育園協力会に対し、入所者の家族等が面会の際に使用する宿泊休憩施設「いこいの家」の管理運営費用を、加盟市町村で負担する。 主な業務は、事務局からの負担金依頼受付、内容の確認、負担金の支払いである。 事業費は、負担金として支出している。 				総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金			
					人件費	正規職員従事人数		都道府県支出金		
						延べ業務時間		地方債		
						人件費計(B)	0	その他		
						事業費計(A)	0	一般財源		
						トータルコスト(A)+(B)	0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
独立行政法人国立病院機構岩手病院が運営するあすなろ療育園協力会に対し、加盟市町村負担金を拠出した。		ア	負担金支払件数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同じ。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
(直接の対象)独立行政法人国立病院機構岩手病院あすなろ療育園協力会		名称	
(間接の対象)入所者の家族		単位	
		カ	入所者数
		キ	対象機関数
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
独立行政法人国立病院機構岩手病院あすなろ療育園協力会が運営する、宿泊休憩施設「いこいの家」の運営活動に役立ててもらおう。また、ボランティア団体の利用に供し入所者との地域交流を深める。		名称	
		単位	
		サ	いこいの家利用者数
		シ	
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
入所者と家族の面会時間を増やすことにより、お互いに、安心して生活ができる。			

(2) 総事業費・指標等の推移								
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(目標)	2年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	10	10	10	10	10
	事業費計(A)		千円	10	10	10	10	10
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	1	1	1
		延べ業務時間	時間	10	10	2	2	2
		人件費計(B)	千円	40	40	8	8	8
		トータルコスト(A)+(B)		千円	50	50	18	18
⑤ 活動指標		ア	件	1	1	1	1	
		イ						
		ウ						
⑥ 対象指標		カ	人	1	1	2	2	
		キ	箇所	1	1	1	1	
		ク						
⑦ 成果指標		サ	人	0	0	0	16	
		シ					2	
		ス					2	

事務事業ID	1127	事務事業名	重度心身障害児者施設協力事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	協力会の規約により、入所者の出身市町村が会員となり、運営費として負担金を拠出している。 開開始年度は不明。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	県内の加盟市町村で負担金を拠出しているほか、入所者の出身県(福島を除く東北5県)でも補助金を交付している。ただし、補助金を打ち切りする県ができてきている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	協力会の事務局市から、会の運営のため、各会員市町村の負担金拠出の継続を強く求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 家族等の関わりは、障害者の自立のために重要であり、家族等が面会の際に使用する宿泊休憩施設の管理運営費用の一部負担することは、相談体制の充実に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 法令により、障害者の自立と社会経済活動への参加を促進するための援助と必要な保護は地方公共団体の責務とされており、当市からの当該施設入所者もいることから妥当である。 また、負担金は、協力会の規約で定められており、他の市町村も賛同している。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 施設入所者の家族やボランティアが利用する施設であることから妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ いこいの家利用者は前年度に比べ増加している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 廃止又は休止した場合、宿泊時の家族の負担が増加する。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 負担金額は、加盟市町村の取り決めによるものであり、事業費の削減は難しい。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) これ以上事務を簡素化できない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 利用者から宿泊利用料を取っていることから公平である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																				
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下		×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持		●	×																		
低下		×	×																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
施設運営に対する県内関係自治体による補助であり、今後も継続する必要がある。																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	現状どおり継続して事業を実施する。